

コロナ禍で提唱する「つながりをたやさない社会づくり」

人が人を支える福祉や医療の現場では、いかなる状況にあっても事業を止めることができません。

いま、神奈川県共同募金会には、社会福祉施設で集団生活している子どもたちや、常時介護が必要な方々、ウイルスと最前線で闘う医療従事者を応援したいとの声がたくさん寄せられ、本年3月よりコロナ禍での緊急支援事業を展開しています。

生活困窮者等への「食」を中心とした物資による緊急支援事業を展開しています!

学校が臨時休校となった当初、企業からご提供いただいた食材で活動を行う大和市内の子ども食堂



緊急事態宣言が発出される中、最小人員で支援物資の積み込みを行う日本カストディ銀行のスタッフ

「赤い羽根子ども支援全国キャン
ティング！」

ながりをたやない社
会づくり」を全国共通
テーマに掲げて、引き続
きウイルス感染の早期
終息を願い、直近の課題
へ皆さんとともに取り
組んでまいります。

「赤い羽根子どもと家族の緊急支援全国キャンペーン」を展開しています！

口口ナ禍で、困りごとをかかえる家庭の子どもたちと家族を支援するため、中央共同募金会では学校の臨時休校の開始時期に合わせて、本年3月に「赤い羽根子どもと家族の緊急支援全国キヤペー^ン」を開始しました。

各都道府県共同募金会でも、全国キヤペーンの趣旨のもとに、NPO等が展

支援が必要な子どもたちや生活に困窮されている方々への生活支援物資が、共同募金会にたくさん寄せられています。共同募金会の協働パートナーとして、毎年、商品や株主優待品を多数ご提供いただいている株式会社日本カストディ銀行（東京都中央区）、株式会社ファンケル（横浜市中区）からも、本年3月より食品類（米、レトルト食品、飲料）や健康サプリメント等を継続的に寄贈していただき、社会福祉協議会やNPOと連携して、離職や休職によって生活に困窮される方々へお届けしています。

また、その日の食事もままならない方々も急増しているため、NPOや社会福祉施設が主体となつて、企業等から提供された食料を無料で配布するフードパントリー活動が県内に広がっています。

学校の臨時木校や保育所の一部木園の
母子生活支援施設や施設近隣の
ひとり親家庭への生活支援事業を
展開しています！

さらに勤め先の休業による減収などによって、当面の生活支援を必要とされるひとり親世帯が増加しています。

子育て支援等が行われていますが、プロジェクトによって、施設で生じるものオンライン学習への環境、ウイルス感染の防止策、さらに施設の近隣で生活に困窮されるいる母子家庭へ、食材を無償で提供する活動などが行われています。

で幅広い年齢層の子どもたちが集団生活している児童養護施設では、小・中・高等学校ごとに異なる「口ナ禍での学習環境へ対応していく必要があります。

(児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設)で生活している1900人を超える子どもたちが、夢や目標をもって学習に取り組めるよう、オンライン学習用タブレットの整備や学習室のパーテーション設置、参考図書の購入資金などに広く活用されています。

被災地に精神医学士一同が集まり、
されている方々を応援するため
の活動を展開しています！

女性の幸せをサポートする取り組みの一環として、コロナ禍で支援を必要とする母子家庭を応援するために、本年5月に「共同募金会との協働プロジェクト」を立ちあげて、お客様と一緒に貢献活動に取り組んでいく企画のもとに、同社商品によるチャリティーセールを開催していただきました。

企業から提供された食品類を無償で配布する
横浜市内のNPOによるフードパントリー活動



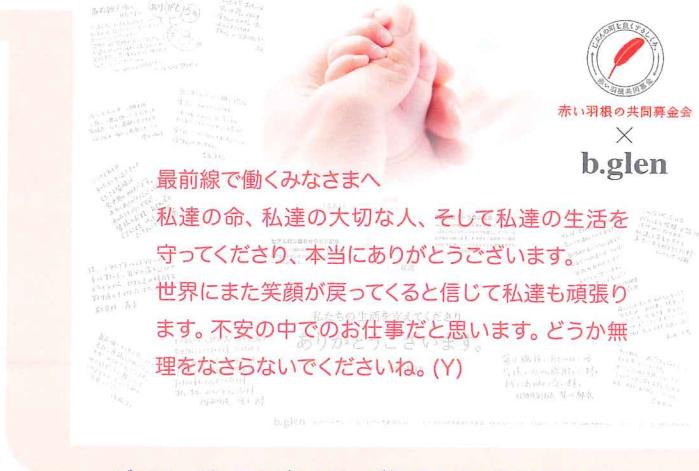
設（公當を除く9施設）へ、共
同募金会を通じてお届けすることができ

児童養護施設等の子どもたちへの

母子生活支援施設は、児童福祉施設の中で唯一、母と子が一緒に生活できる施設でした。

学校の臨時休校や時差通学、夏休み期

一般財団法人アズビル山武財團（藤沢市）では、未来を担う若者夢や目標の実現に向けた支援プロ grammの一環として、児童福祉施設で生活している子どもたちへのコロナ禍での教育支援を目的に、共同募金へ100万円のご寄付を頂戴しました。



ビバリーグレンラボラトリーズ株式会社の社員皆さまから
寄せられた医療従事者への応援メッセージより

はじめ、消毒液の使用頻度が多い医療現場へ、自社製品として開発された抗菌ハンドクリームを応援メッセージ(画像)とともにご寄贈いただくなど、見えないウイルスと日々闘っている方々への感謝の気持ちが込められた支援の輪が広がっています。

開しているさまざまな支援活動への緊急配分が行われています。